

4歳児 森組

2学期が始まり、森組には3人の教育実習の先生が来ました。好きな遊びに誘い掛けたり、「見て見て、こんなんつくってん」と、素材を組み合わせでつくったものを見せに行ったり、手を繋いで遊びの場を一緒に巡ったりして、自分なりに関わりたい気持ちを表現しようとしていました。

雨が多く、戸外で遊ぶ機会が少ない中でも、園庭に落ちてきたたくさんの栗の実に気付き、イガの中に隠れている栗を見つけたり、集めてごちそうに見立てたりして遊ぶ中で、季節の移り変わりに親しんでいます。また、一本橋を渡ったり、台を登って跳んだり、布玉をフープめがけて投げたりして、いろいろな体の動きも経験しています。今後、涼しくなっていく中で、体を動かす心地よさ、楽しさを存分に味わえるようにしたいと考えています。

保育室では、気の合う友達と、自分たちで遊びの場をつくる姿や、その遊びが翌日以降も続く姿が見られるようになってきました。「今日もこれをするの」「〇〇ちゃん、始めるよ」と、誘い合っている様子が見られます。また、つくったものを使って遊んだり、遊びの中で欲しいと思ったものに見立てられそうなものを、ままごとの場や素材から選んだりして遊びが進んでいく姿も見られるようになってきました。それぞれの思いを大切に支えながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しめるように支えていきたいです。



「実習の先生と 遊ぼう！」

「いろんな木の実を みつけたよ！」



赤ちゃんどんぐり
葉っぱの間に
隠れてるね



栗の家族かな？
こっちがお母さんで、
こっちがお姉ちゃんで…



落ちないように、
そうっと わたろう

「体を動かして
遊ぼう！」



ステージで
踊ろう！



これ、この子たちの
ベッドやねん！



いち、にの、じゃーんぷ！

